

科目名		設計製図A				
担当教員		三浦 拓		実務授業の有無	有	
対象学科		建築士学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数	1.5	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方		建築空間の表現・伝達に必須である製図の知識・技術を、実習を通じて習得する				
学習目標 (到達目標)		木造住宅の各種図面の表現と作図手順を学び、木造軸組構法のしくみを理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		○初学者の建築講座 建築製図(市ヶ谷出版) ○製図用具一式 ○配布資料 ●製図用シャープ0.7mm(芯はB) ●マーカーペン(イエローとピンク)				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	製図の基礎 ・建築製図と用具 ・製図の基本事項			建築製図の役割、図面の種類、用具の使い方を学ぶ 図面に用いる線・文字・記号・縮尺について学ぶ		
2	・作図トレーニング			線の表現、文字数字の記入、記号の表記などを 作図実習を通じて技術を習得する		
3	・課題実習			平面図・断面図・立面図の作業手順を学び、 作図実習に取り組む		
4	課題提出1			期限内に課題を完成させ提出する		
5	木造住宅の製図 ・配置図・平面図の作図			作図手順を理解し、実習を通じて技術を習得する		
6	・断面図・立面図の作図			作図手順を理解し、演習を通じて技術を習得する		
7	・伏図の作図			木造軸組構法を学び、作図演習を通じて技術を習得する		
8	課題提出2			期限内に課題を完成させ提出する		
9	・矩計図の理解			木造軸組構法の構成と部材名を学ぶ		
10	課題提出3			期限内に課題を完成させ提出する		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
平常点	課題			【評価基準内訳】 課題評価：課題内容の評価50%、丁寧さ20% 取組姿勢：締切厳守20%、授業態度10%		
70 %	30 %	%	%	2級建築士試験の設計製図に対応できる基礎技術を習得しましょう		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		ハウスメーカー2年勤務				